

## 第二浜田ダムの湛水式を行いました

河川課河川開発室

浜田市の浜田川で建設中の第二浜田ダムは、平成21年からダム本体建設工事に着手しており、平成27年10月6日に湛水式を行いました。

当日は、秋晴れの晴天のなか、県・地元・工事関係者ら約40人が出席し、堤外仮排水路トンネルを閉塞し、湛水を開始する湛水式を行いました。



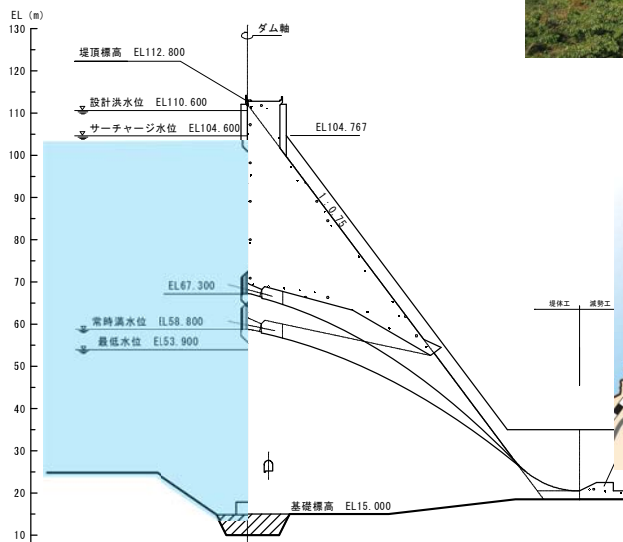
湛水ゲートによる堤外仮排水路の閉塞

### ○試験湛水とは？

第二浜田ダムの堤体、基礎岩盤及び貯水池周辺地山の安全性を確認するとともに、取水放流設備・管理設備等の機能確認及び管理のための資料収集を目的として行うもので、サーチャージ水位（EL104.6m）まで水を貯め、その後EL54.0まで貯水位を下げっていきます。

### ○ダムの諸元

本体ダム	堤高：97.8m	堤長：218.0m
	堤体積：324,000m <sup>3</sup>	
鞍部ダム	堤高：27.8m	堤長：202.5m
	堤体積：34,000m <sup>3</sup>	
総貯水容量	15,470,000m <sup>3</sup>	



流域一覧図



## 知ってる？海のこと ～11月5日は「津波防災の日」～

### 「津波防災の日」とは？

2011年3月に発生した東日本大震災を教訓として、津波対策を総合的かつ効果的に推進するため、2011年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、11月5日を「津波防災の日」と決めました。

### 「津波防災の日」の由来

1854年11月5日の安政南海地震（M8.4）で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人々を高台に避難させて命を救った「稲むらの火」※の逸話にちなんだ日です。

※小泉八雲（ラフガディオ・ハーン）が「稲むらの火」の逸話をもとに「A Living God」を書いています

### 【編集後記】河川課 企画調査グループ 藤岡八寸志

今号の記事は、第二浜田ダムの湛水式についてです。第二浜田ダム（97.8m）は、完成すれば尾原ダム（97.0m）を超え、県内で最も高いダムとなります。ダムの堤体や基礎地盤などの安全性を確認するための試験湛水が、無事に終了するよう願っています。

さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/index.html>